いづみがは　山万　渡をとをみ　狛山にかよはすといへり、その杜のもと也　をとは　同古今集輔　をもがは

みかのはらわきてながるゝ　同野行幸、うち山万、ぶきやそうち川あじろまきのしまあり、橘の小島とあり、鵜河、慈圓歌、云事はあれど、非普通事、ひが事也、不二集入一在二世繼相模歌一、古　同古今　よどおほよ

同はかつら大井川の事も、鵜川立、おほはら　同恵慶拾、むめづ　同拾、みたらし　賀茂　かも山万　かつら

もと　あすかはし万、紅葉、せゞのふちせかはのるい、なぎの　同万、きぶね　社同、おほね　同拾、なせのたき有、

とつせ　同せとも　きませ　同　神なび山　同ぶき万、たつたつらぎ　同紅葉、古今にはみむろの山のすそとみゆ、かしら、後撰にはいはせのもりちかし、ありす　御所、辨院、よしの　大万、よしの川見

はつせ　同　さほ　同、霧万、千鳥　忠岑歌、蘭紅葉、くらはし　同しだ万、

のすげ、川、なつみの　同万、なくなるやまのかげにしもぞ、あきつ　無絶万、よしの也、といへり、みわ　同万、きよき也、蛙、かしら、後撰にはいはせのもりちかし、

三輪、清浄によせてよめる也、やつり　同万、のとか　同さ山近、みあなし　同万、あなしもくのあなしき　にぶの　同

舟かよはすといへり川也、こせ　同万、ひろせかりあさしそてつくは　同万、むつだの　同柳、かはづ　万、のとせの

有と一説也、たかせ川は、攝津にもの、ひのくま　同万、是みちの國のあぶくま也、あまのばた　同、又たなのはら

空なり、よしき　同春日野也、たけ　河内、躬恒、拾、むこ　聟、みなせ　同万、ゐな　同万、いざや　近万、

山なる、あと　同たり　しまの　折せた　同、橋あり、きぬ　同やすや　同万、みかみの　たながみ　同、拾、あじろ、元輔、

すゞかこ　伊勢万、えむと　やそせよと云り、なみだ　古同、みや　同、神宮、新古、匡房、清輔、みもすそ　同、後拾、いすゞ　新同、

古、匡房、清輔、みもすそ河名云々、神ぢ　経信、

わたらひ　同万、河のべのわたらひの大いなみの　播万、川といへり、

たと　美万、せきのふち　同、古、ふちがはとも、みつ　参万、さす、あやのべ　讃、後拾、あや、河とも、ちくま　信万、

能、かたかひ　越中万、おかみ　同句をとめ、紅、賣比　同万、しやそのとも、うさか　同瀬万、

にしき　かみつ　同、万、あさこきし　さきた　同、みなのせ　相万、ふかまくさ、

多の水わがきぬのあがきぬれぬ　さみづつ　同、万、うたへあま人、

とね　上野万、あそ　上野万、たまづく　武万、さらす　陸奥國歟、くし　常万、つくば　同、こひせ　同ほ万、みなの

同、後撰、つくばれ、もがみ　出羽、古、ないな舟早川なり、あぶくま　陸古、あぶくまにといへり、なとり　同、古、忠岑、あひづ　同　云

の峯よりおつる、

ら陸ころも　同拾、あしきの　筑前万、あしきのくしげ　万、たまそめは　同、後撰、みそめつ、あひそめかなどいへり、清輔抄にあり、うるし　同拾、